大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業

「事業名：営農再開地域における先進的なオーガニック作物生産技術の開発」2020年度補助事業の実績・成果

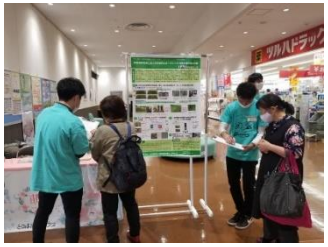
東京農工大学　連携市町村：富岡町

連携市町村との協定締結日：2019**年**1**月**17**日　現地拠点：富岡町大字小浜中央**416　**さくらモール（１階　とみおかプラス）**

事業のポイント

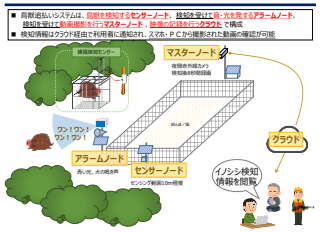
福島県富岡町、浜通りの営農再開地域において、IoT、ロボットを活用した先進的でスマートなオーガニック作物生産技術を開発
農業復興を目指し、現場生産者ニーズに合致した 省力作物生産技術を開発、スマートオーガニック農産物生産の産地形成を推進
農業の振興、農業の再開を支援し、農業収入の安定化と所得の拡大、スマート農業の技術開発・普及等人材育成
大学院生の修士論文研究課題として、富岡町での農業復興に関する研究活動を展開、他大学との連携を積極的に推進

今年度の活動実績



・オンライン現地検討会を開催（6月23日、富岡町）。大学、町役場、営農再開者、民間企業等多数参加。
・IoTによる遠隔地からの水田水管理、アイガモロボット、種籾の事前乾燥＋温湯消毒技術を組み合わせた
　スマート有機農業の実証研究（研究拠点、4－10月）
・スマート育種で開発した農工大育成水稲品種の有機栽培水田のドローン成長モニタリング、収量調査
　（研究拠点、4－12月）
・農地客土の肥沃化をめざした緑肥作物エンバク、ヘアリーベッチの栽培研究（研究拠点、5－8月）
・富岡町における富岡産酒米、高級日本酒マーケティング調査（富岡駅、さくらモール、10－12月）
・大学生協における富岡産米（農工大、福島県品種）の販売、研究活動紹介（11月）
・オンライン研究活動報告会を開催（1月9日、富岡町文化交流センター）。学生、教員含む大学、富岡町役場、
　営農再開者、イノベ機構、関係機関、民間企業が多数参加。

今年度の成果



・営農再開地域の通い農業支援のためIoT水管理、アイガモロボット、種子事前乾燥＋温湯消毒技術を組み合わせたスマート水稲有機栽培、スマート育種で開発したイネ品種のスマート有機栽培を実証した。新作物導入のため、サトイモなど畑作物へのIoT点滴灌漑システムの現地実証を行い、収量が倍増し、節水、省力化可能であることを実証した。
・鳥獣害対策のため、イノシシのモニタリング・追い払いシステムの現地実証、生態調査を民間企業と共同で実施し、追い払い効果を確認した。
・農工大、福島県育成品種の酒米を利用した大吟醸など付加価値の高い高級日本酒、スパークリング日本酒醸造についてマーケティング調査を実施した。
・オンラインを活用し学生が積極的に現地での研究活動に参画し、人材育成を行った。